

平成 22 年度 事業報告書

大慈保育園

1. 《平成 22 年度法人ビジョン》
 - ①経営の強化
 - ②サービスの質の向上
 - ③教育システムの充実

2. 《基本方針》
 - ①安全を第一に考え、子どもが楽しく生活できるよう工夫する。
 - ②職員の資質向上のため職場内研修を行い、外部研修にも参加する。

3. 《目標》
 - ①サービスの視覚化に務め、サービス内容の浸透を図る。
 - ②地域施設との交流を深め、地域に根付く保育園を目指す。
 - ③兵庫保育園と連携し、地域福祉の新たな貢献を目指す。

→建て替え工事期間中、仮園舎での保育となる為、安全第一に保育を行い、楽しめるようにと考え、建設業者と連携を密に図った事で、子ども・保護者の安全の確保、情報提供ができた。又、園庭がない為、地域施設に大変お世話になった年度でもあった。遊び場やプールの提供を受け、大変感謝している。デイサービスセンターや小学校等との交流を重ね、信頼関係が深まった。

地域の公園にも毎朝夕行き、地域の方やお年寄り等とも自然な形で交流が図れた。「お楽しみ会」「わくわくデー」など楽しいイベントを沢山取り入れた事で、楽しい仮園舎での保育ができた。

4. 《保育環境整備》
 - ・保育室改修工事等を行った。

5. 《職員研修》
 - ・職員の資質向上のため、職員会議毎に研修・伝達講習を行った。
 - ・月 1 回元神戸市私立保育園連盟指導保育士大石静恵氏により、カリキュラム・児童経過記録等指導研修を行った。
 - ・12 月 12 日に、兵庫保育園と合同で職員一日保育研修を行った。

6. 《広報》
 - ・保護者に、職員紹介ニュースを発行し職員との交流を深めた。
 - ・本園ホームページの更新を行った。
 - ・AM 神戸のよい子ネットに参加し広報活動を行った。
 - ・園庭開放のポスターをスーパーマーケット等に掲示した。

7. 《災害・防犯避難訓練》
 - ・毎月 1 回 避難訓練を行った
 - ・毎月 1 回 防犯避難訓練を行った。

- ・消火器・火災報知機・消防署ホットラインの点検整備を行った。

8. 《会議》

- ・月1回 職員会議・給食会議
- ・月2回以上 リーダー会議

9. 《健康診断・衛生》

内 容	実地日 (回数)	業者等
健康診断	4月・11月	浪方医院
眼科健診	6月・2月	向井・曾谷眼科医院
歯科健診	6月・2月	郷田歯科医院
耳鼻科健診	6月・2月	野村耳鼻科医院
ぎょう虫検査	6月	兵庫県予防医学協会
尿検査		兵庫県予防医学協会
調理室の消毒	毎月 (1回以上)	サニックス株式会社

10. 《行事内容》

月	行事名
4月	入園式
5月	遠足 クラス懇談会 お楽しみ会
6月	お楽しみ会
7月	七夕祭り、水遊び
8月	地藏盆 (園児のみ) 1日スイミングスクール
9月	デイサービスセンター交流
10月	運動会 お泊り保育 遠足
11月	作品展 兵庫保育園交流 お楽しみ会
12月	音楽会 クリスマス会 おもちつき デイサービスセンター交流
1月	お楽しみ会 よいこの集い 六甲山スキー遠足 デイサービスセンター交流
2月	豆まき 一日スイミングスクール
3月	生活発表会 お別れ遠足 お別れ会 卒園式 兵庫・古湊保育所交流

11. 《月間行事》

行事名	
キッズカウンセリング (随時)	お誕生日会 (月1回)
ECC英語教室3歳児クラス (月1回)	育児講座 (月1回)
ECC英語教室4・5歳児クラス (月2回)	盲学校交流 (随時)
わくわくデー	

12. 《育児支援》

- ・育児講座を月1回 年12回行った。
- ・育児相談を随時行った。

13. ≪平成22年度在籍児一覧表≫

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	3	21	28	28	28	30	138	115
5月	4	21	30	31	28	30	144	120
6月	4	21	30	31	28	30	144	120
7月	4	20	30	31	28	29	142	118
8月	4	21	30	31	29	29	144	120
9月	4	21	30	31	29	28	143	119
10月	4	21	30	31	29	27	142	118
11月	5	21	31	31	29	27	144	120
12月	5	21	31	31	29	27	144	120
1月	6	21	31	30	29	27	144	120
2月	6	21	31	30	29	27	144	120
3月	5	20	31	30	29	27	142	118
合計	54	250	363	366	344	338	1715	119

14. ≪リスクマネジメント報告≫

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

※医師、看護師が常駐していないため、診察を受け医師の判断を仰いだ。

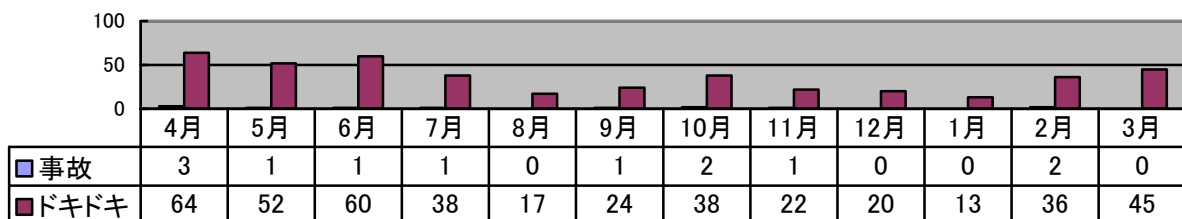
①提出件数：442件（事故13件、ドキドキ429件）

21年度398件（事故7件、ドキドキ391件）

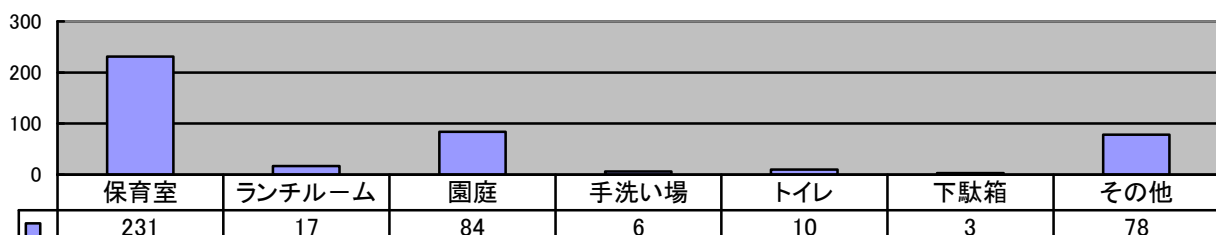
20年度265件（事故17件、ドキドキ248件）

19年度187件（事故21件、ドキドキ166件）

→4月は年度始めで、新入園児が多く、お散歩など園外に出始めた為である。10月は運動会も終わり活動が活発になった。12月は、行事が多く大人によるものが多かった。

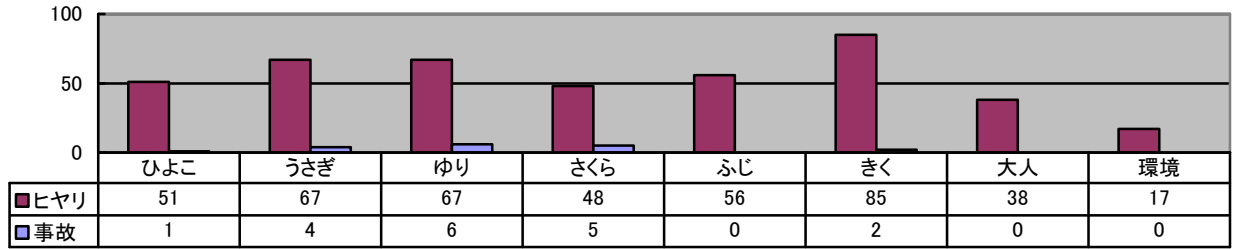


②発生場所別件数（ヒヤリハットのみの件数。事故は集計なし）



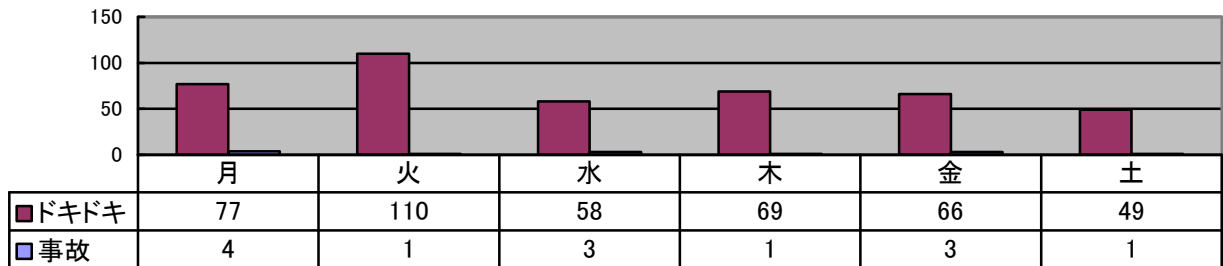
③発生クラス別件数（ヒヤリハットのみの件数。事故は集計なし）

→年長児が多いのは、活動が活発である為と思われる。



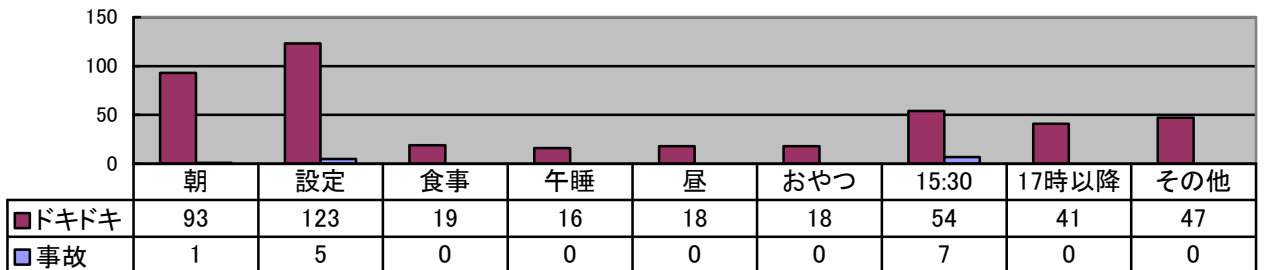
④曜日別件数（ヒヤリハットのみの件数。事故は集計なし）

→週始めの月・火が多い



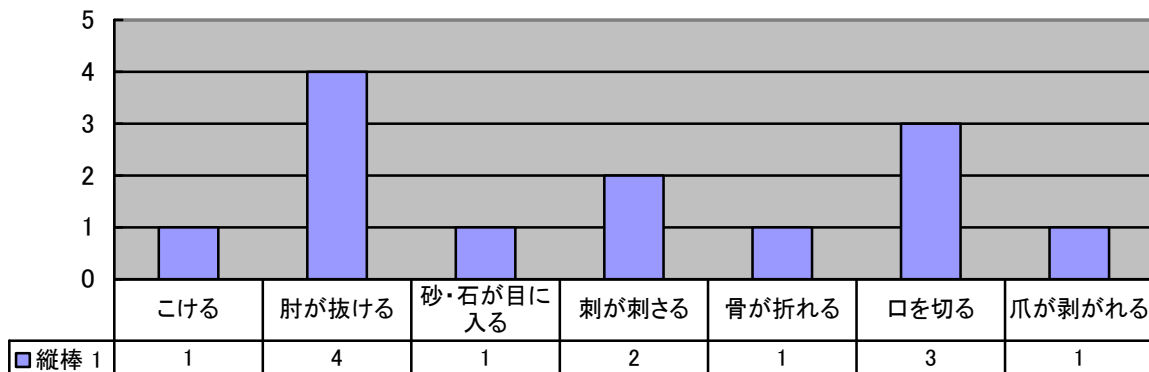
⑤時間帯別件数（ヒヤリハットのみの件数。事故は集計なし）

→設定保育中は、活動が活発であったり種類が増える為であると思われる。



⑥事故発生内容

→子ども同士の関わりで、2, 3 歳児の脱臼が多かった



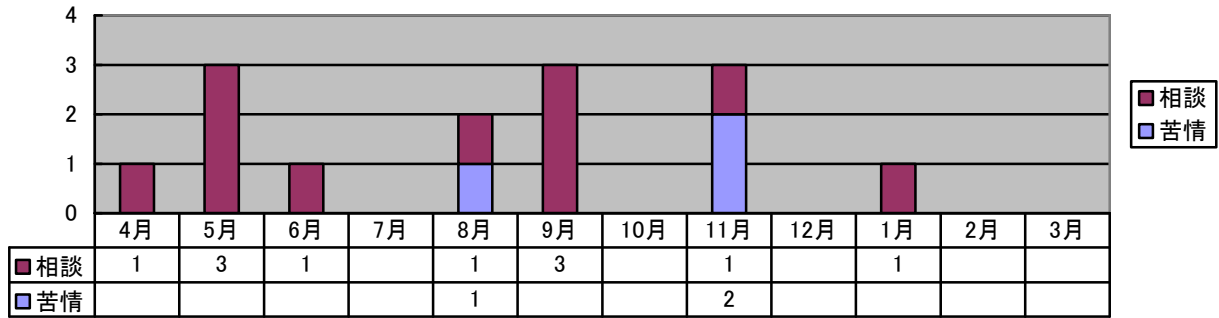
⑦まとめ

受診したことを事故と定義している。2, 3 歳児の子ども同士の関わりで脱臼が4件もあった。関わりが深くなる年齢であるので、注意してみていく必要がある。転んで口を少しきる事故が3件あった。運動遊びを強化して身体能力の向上を図っていかなければならない。

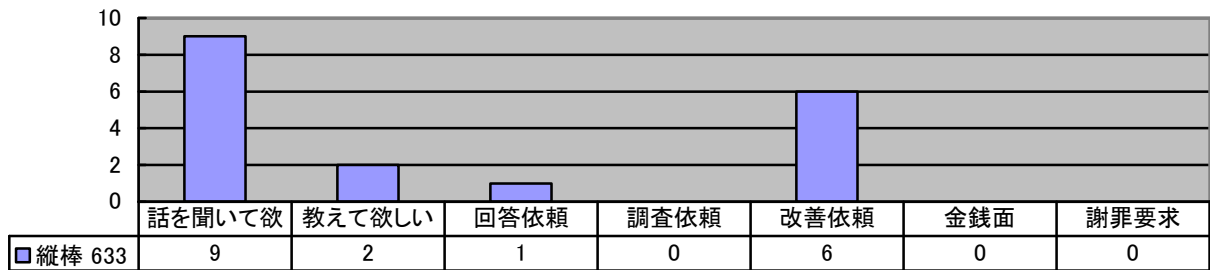
15. ≪苦情・相談結果報告≫

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

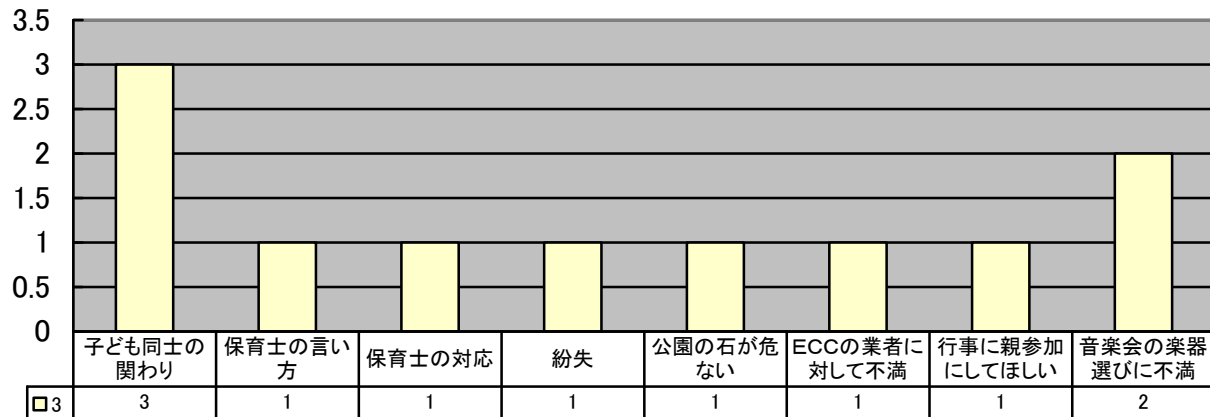
○報告件数・・・ 14 件 (内苦情 3 件)



要望分類



主な内容



○まとめ

苦情は園長、副園長が対応した場合と定義している。保護者に耳を傾け、詳しく説明することで、納得していただけることが殆どであった

16. ≪総括≫

大慈保育園園舎建替工事を行った。保護者及び地域の皆さまから、大変ご協力をいただき、クレームもなく保育園と地域が一体となって新園舎が完成したと感謝している。お蔭様で、生活発表会、卒園式を新園舎で行うことができ、卒園児や保護者から喜ばれた。竣工式典も無事つつがなく終了し、新たなスタートを良い形できることができた。

スイミングスクールが、マンボウから板宿ベイに、業者の都合で変更になったが、引継ぎもうまくいき順調に移行できた。

デイサービスセンター真愛と連携を図り、相互に訪問し行事に参加した世代間交流も 10 年目

を終了し、地域に根づいてきた。お年寄りも子ども達も楽しくみんなで喜びあった。湊小学校見学等、小保の連携交流のスタートをきれた。

法人の長年の懸案であった、大慈保育園の建替工事を無事竣工することができた。地域とのトラブルも殆ど無く、神戸市子育て支援部からも「大慈保育園の地域とのお付き合いが良かった。」とお褒めの言葉を頂いた。

「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず。」との言葉通り、神戸市など行政機関、地域の方、保護者のみなさま、設計事務所、施工工務店、想像以上に関係がスムーズにいき、人の和の大事さを改めて感じた。

「継続は力なり」の言葉通り地道に努力を続けることによって、建替工事の事業が無事良くいったと思う。これからも、交流事業、保育及び教育の保護者の理解など、人の和を大事にし、この努力を継続していきたい。

今年度行った「全保育園職員1日研修」は、民間移管決定後、兵庫保育園、本園の全職員によって行い、全保育園職員の研鑽と交流を含め意義のある研修であった。現在の状況に甘んじることなく、より一層の保育力の充実・向上、職員の資質向上に努め、児童福祉をはじめ地域福祉にも貢献していきたい。

「いい保育をし、知っていただく努力をする」のモットーの基に、地域における児童福祉・育児支援の拠点になることを目指し、「継続は力なり」の言葉通りに地道に努力を続け、「人の和」を大事にしていきたい。